

令和5年度  
11月号

# 幼稚園だより



令和5年10月31日  
文京区立湯島幼稚園

## 「自己表現すること」

園長 前田 宏子

園庭では木々の葉の色が変わり、落ちています。その下で子どもたちは葉を手にとって、眺めたり集めたりしています。今年の秋の訪れはあっという間にやって来ました。戸外での遊びが気持ちいい季節です。運動遊びだけではなく、いろいろな遊具を持ち寄ってごっこ遊びも楽しんでいます。

本園は令和4、5年度の2年間にわたり、文京区教育研究協力園として研究を進めてまいりました。園だよりでは5月号から園内研コラムとして、私たちが研究していることをお知らせしてきました。そして、11月24日には幼稚園で公開保育と教育センターをお借りして研究発表会を行います。研究テーマの「ごっこ遊びを通して、幼児の自己表現力を育む」は、日頃の保育の中で自分の思いを伝えることが難しい幼児の姿があると悩んでいたことが、テーマとなっていきました。私たちは“自分の思いを伝える”とはどんなことかということを考えることから始めました。自分の思いだけを表せばいいのか、相手の思いをどう聞くといいのかなど、話し合いを進めていく中で様々な意見が出ました。詳しくは研究発表会でお話をしたいと思います。

幼児期には人との関わりの中で様々な感情を体験していくことで、人と関わることは楽しいことだという思いをもってほしいと思います。大人になったときにその楽しかった思いが「人との関わることは楽しいことだ」と感じる基礎になると考えます。その基礎があると、仕事をしていく上でも、友人、家族と過ごす上でも人と関わることに積極的になっていくのではないのでしょうか。そして、多少人間関係でいざこざがあったとしても乗り越えていける力になると思います。

幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を育む時期と言われます。今改めて、幼児期の大切さをしみじみと感じます。子どもたちは待たなしで日々の生活を進めています。私たち教員も日々悩みながらも人と関わる楽しさを感じながら保育をしていきたいと思っています。